



平成 19 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 九 電 工
 代 表 者 名 代表取締役社長 河部 浩幸
 コード番号 1959
 上 場 取 引 所 東証一部、福証
 問 合 せ 先 経 理 部 長 塩 月 輝 雄
 (TEL092-523-1239)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表しました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

〔連結〕

(単位:百万円、%)

		売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(平成 18 年 11 月 15 日発表)	(A)	235,000	6,400	2,600
今 回 修 正 予 想	(B)	251,000	3,300	△ 2,500
増 減 額	(B-A)	16,000	△ 3,100	△ 5,100
増 減 率	(%)	6.8%	△ 48.4%	—
前期実績（平成 18 年 3 月期）		233,560	5,219	1,673

〔個別〕

(単位:百万円、%)

		売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(平成 18 年 11 月 15 日発表)	(A)	213,000	4,400	1,600
今 回 修 正 予 想	(B)	227,000	4,700	1,600
増 減 額	(B-A)	14,000	300	—
増 減 率	(%)	6.6%	6.8%	—
前期実績（平成 18 年 3 月期）		211,985	6,020	2,576

2. 修正の理由

〔連結〕

売上高については、設備工事業における大型工事の完成や電力通信工事の増加により、前回発表予想値を上回る見通しです。

なお、平成 19 年 4 月 27 日に公表いたしましたとおり、株式会社ダイエーが民事再生手続きの開始を申し立てたことから、連結子会社である株式会社キューコーリースが同社に対して有する割賦債権の回収不能見込額 13 億 89 百万円については貸倒引当金、貸与しているリース資産の処分損失見込額 12 億 56 百万円についてはリース資産処分損失引当金をそれぞれ平成 19 年 3 月期に計上いたします。

また、この処理に伴って貸倒実績率を見直した結果、一般債権に対する貸倒引当金繰入額並びにリース資産処分損失引当金の繰入額が約8億円増加する見込みであることから、経常利益につきましては、前回発表予想値を下回る見通しです。

さらに、株式会社キューコーリースでは、この損失処理に伴い、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、過年度に計上した繰延税金資産を取り崩すこととし、当期の税金費用が増加したため、当期純利益は前回発表予想値を下回り、当期純損失となる見通しです。

〔個別〕

売上高については、大型工事の完成や電力通信工事の増加により、前回発表予想値を上回る見通しです。

経常利益については、増収による要因に加え、工事利益率の改善により前回発表予想値を上回る見通しです。

以 上

(業績予想に関する注意事項)

本資料中に記載されている市場予測や業績見通しは、現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご了承ください。